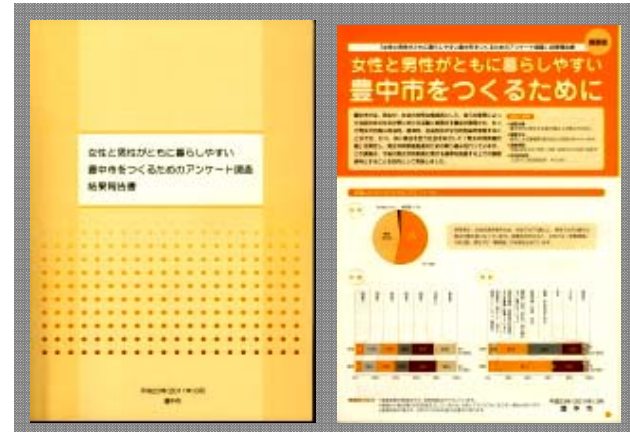


●豊中市発行の行政資料

「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート調査結果報告書」と「同概要版」平成23年(2011年)3月発行



概要版

男女共同参画の推進に対する意識や実態を明らかにし、今後の施策に活かすために、豊中市が平成22年10月に市民へのアンケート調査を実施。家庭生活、教育、地域活動、高齢期、仕事などの項目について、満20歳以上の男女に聴いている。概要版については、すてっぴで配布中！

「豊中市DV対策基本計画（豊中市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画）」が策定された。計画の期間は6年間で、DV防止ネットワーク会議など関係機関との一層の連携強化を図りながら、ワンストップサービスの推進にも取り組む。平成23年(2011年)3月発行

\*各種行政資料は、情報ライブラリーで閲覧できます。

●インターネットで学ぶ&情報探し

内閣府男女共同参画局

★男女共同参画社会とは何か？という基本を知りたい。  
<http://www.gender.go.jp/pamphlet/pamphlet-main/index.html>

★女子差別撤廃条約のポイントを学びたい。  
<http://www.gender.go.jp/teppai/>  
国連女子差別撤廃委員会の林陽子委員による解説DVDの映像をストリーミングで観ることができる。

★カエル！ジャパン 仕事と生活の調和推進（ワーク・ライフ・バランス）ホームページ  
[http://www8.cao.go.jp/wlb/change\\_jpn/index.html](http://www8.cao.go.jp/wlb/change_jpn/index.html)  
「ひとりひとりが、仕事も、人生も、めいっばいたのしめるそんな会社や社会になるといいね。」

NWEC 女性情報ポータル Winet <http://winet.nwec.jp/>  
女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会をめざした情報の総合窓口のデータベース。

災害と女性センター <http://j-kaikan.jp/help/>  
全国女性会館協議会が関連団体と協力して、災害時における必要な支援情報を提供している。

すてっぴに資料所蔵あり！  
・第3次男女共同参画基本計画  
・男女共同参画白書 平成23年版  
など、館内閲覧ができます。

すてっぴにDVD  
【教育161】所蔵あり！

●日本女性会議 2011 松江

女性の社会的地位の向上や男女共同参画社会の実現をめざし、毎年行われている全国規模の会議。1975年の「国際婦人年」とそれに続く「国連婦人の十年」を記念して始まり、今大会で28回目を迎える。  
【日時】平成23年(2011年)10月14日(金)～16日(日) 【開催地】島根県松江市  
【テーマ】語ろう・紡ごう、“だんだん”の縁(えにし)を世界へ <http://www.joseikaigi2011matsue.jp/>

情報ライブラリー利用案内

利用時間 月～土 10:00～20:00  
日 曜 10:00～17:00  
(情報相談は閉室30分前まで)

休室日

毎週水曜、毎月最終火曜、祝日(日曜の場合は翌日)、  
年末年始、特別整理期間(2011.11.29～12.4)

Stepping Out 第21号 2011年8月31日発行

編集：すてっぴ・情報ライブラリー  
発行：財団法人とよなか男女共同参画推進財団

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-501  
TEL 06-6844-9735 FAX 06-6844-9706  
<http://www.toyonaka-step.jp/>

# わたしたちのアクション・プラン

～男女共同参画社会に向けて～

あなたの思いも書いてみよう

無理なく自分で生き方を選べる

人に対する思いやりがあふれる

経済的にも  
精神的にも  
すべての人が自立できる

## 『男女共同参画社会』が実現すると、どうなるの？

協力・分かち合える社会

大切な人たちとの  
有意義な時間を過ごす  
ような生活を送れる



すてっぴ館長おすすめ本

『格差社会を生きたる家族』石川由香里ほか著、有信堂、2011年

この本は、格差社会日本を「家族問題としての格差」という視点の論文集である。「親の教育行動と地域差」「進学に向けての地域格差とジェンダー格差、女性の就業選択」「教育する父親の意識と実践」「家族の実践とジェンダーの構築」「個人化する社会と親の教育期待」「子育てはかわるのか」など、興味ぶかいテーマが並んでいる。それぞれの著者が、自らの調査研究から得たデータを基に論じており、独創性が高く、刺激に富む本だ。【中村彰】